

□涙をのんで

江州 斜陽 生

私は小學校時代より畫が好きで、比較的他の學科より成績も好い方でしたので、先生からも少し畫を研究してはどうかと勧められました。終にやる氣になりました。私は日本畫より西洋畫、殊に水彩畫を好みますが、元より田舎の事なれば先生もごさいませぬし、止むなく安い繪具を買つて花など寫して喜こんで居ました。或時に新聞紙にて『みつゑ』の廣告を見兎も角註文して見ました。私は『みつゑ』を見て暗夜に燈火を得たる心地し大に決心する所あり、後幾程もなく水彩畫階梯を買ひ暇さへあれば此書を読み終に繪具の名稱、描寫の方法も一通り覚えましたが、こゝなると水彩畫が初めたくなるが貧書生たる身の到底其高價なる器具を買ふことが出来ませんので、涙を呑んで空しく其日々を送つて居ましたが何日まで、こゝして居たつて到底目的を達する日はありません、依て小遣金の幾分を割き之を貯蓄すること數月、漸く豫定の金を得是にて水彩畫器具を求めました、此時の嬉しさは實に何とも申されませぬ、早速次の日曜日に之を携へ飛出しました、初めての寫生は何だ

か氣が咎めてなりません、話聲がすると見に来ないだろーかと心配し、又時々後に人が見て居ないかと氣を回しました、さて其内に妙な畫が出来上りました、是にて先づ第一回の寫生を終り歸りました此時に私は家をつまらない畫を描いて居るよりは戸外寫生をした方が得る所あると云ふ點は慥に認めました、是から暇さへあれば戸外寫生に出掛くる心算です、私は將來美術家たらんとするものですが家貧なれば元より師に就く事も出来ず、今は食はんが爲め或職業に従事して居りますけれど幾らか貯金も出来ましたら斯道を研究したく思ひますが如何したらよろしいか、如何とばかり方法はありませんか教へて下さい尤も私は如何なる艱難に遭遇しよーとも屈せぬ覺悟です。

□郊外寫生期

旭 花生

郊外寫生に適當なる時期は三月から五月雨前迄と九月頃から十一月の中頃過ぎ迄即ち春と秋とで一年中略ぼ六月であります然し諸君の奮發次第何時でも出来ぬ時はありません。一月二月の降雪の時期は雪の景を寫すのに丁

度よいが然し甚だ困難な事には寒烈の候だから身體否な手先きが冷めたいには實に閉口せざるを得ない。

四五月頃は人類否な生物一般に最も幸福な時だから郊外寫生者に取つても其の通り一ヶ年の中でも實に此れ位楽しい、好い面白い、寫生期はないのだ。

五月雨時分は甚だ好ましくない道具さへあれば決してむつかしい事はない然し僕等の様な三脚一つ持つて居らぬ如き者には實に困難な時期だ雨中は片手に傘を持たねばならぬ。又濡れた石の上に油紙を敷いて座つた所で衛生によろしくない。(道具所持者に對しては否なり)

七八月頃は朝か夕方ならば兎に角日中は随分むつかしい。頭上に炎熱を浴ひせられて流汗瀧の如きからだに道具一切をぶらさげて行くのは餘程困難な仕事だ。

九、十、十一月は春に次ぐ好時期だ、盆大の銀月、滴血に似たる紅葉、佳香馥郁の葦山。低首歡迎の尾花、實に之れ皆吾々の目的物として最も適當なる者だ。